

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 25 年 10 月 3 日 (2013.10.3)

【公開番号】特開 2012-253860 (P2012-253860A)
 【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-054
 【出願番号】特願 2011-122853 (P2011-122853)
 【国際特許分類】

H 0 2 M 5/293 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 M 5/293 Z

H 0 2 M 5/293 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多相交流電力を交流電力に直接変換する電力変換装置であって、

前記多相交流電力の各相に接続されて双方向への通電を切り換え可能にする複数の第 1 スイッチング素子と、前記多相交流電力の各相に接続されて双方向への通電を切り換え可能にする複数の第 2 スイッチング素子と、を有する変換回路と、

前記変換回路に接続された複数のコンデンサと、を備え、

前記第 1 スイッチング素子及び前記第 2 スイッチング素子のそれぞれに対応する前記多相交流電力の各相の間に、前記第 1 スイッチング素子及び前記第 2 スイッチング素子のそれぞれに対して少なくとも一つの前記コンデンサが設けられ、

前記多相交流電力の各相に対応した複数の入力側のバスバーが並列に配置されており、各バスバーは、同じ相に対応する前記第 1 スイッチング素子の入力端子と前記第 2 スイッチング素子の入力端子とを互いに接続しており、

各相の間において、前記バスバーの前記第 1 スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つの前記コンデンサが配置され、前記バスバーの前記第 2 スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つの前記コンデンサが配置されている電力変換装置。

【請求項 2】

前記第 1 スイッチング素子と前記第 2 スイッチング素子は、空間的配置として、前記変換回路の出力線に対して並列に配置されている請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 3】

同じ相に対応する前記第 1 スイッチング素子の出力端子と前記第 2 スイッチング素子の出力端子とが並んで対になって配置され、

前記複数のコンデンサは、空間的配置として、対になって配置された前記第 1 スイッチング素子の出力端子及び前記第 2 スイッチング素子の出力端子に対して外側に配置されている請求項 1 又は 2 に記載の電力変換装置。

【請求項 4】

前記第 1 スイッチング素子に接続されたコンデンサと、前記第 2 スイッチング素子に接続されたコンデンサとが、互いに接続されている請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の電力変換装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明は、多相交流電力の各相の間において、入力側のバスバーの第１スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つのコンデンサを配置し、前記バスバーの第２スイッチング素子の入力端子寄りに少なくとも一つのコンデンサを配置することによって上記課題を解決する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明によれば、スイッチング素子のそれぞれにコンデンサを近接して配置できるので、コンデンサとスイッチング素子との配線距離を短縮することができる。